

国際宇宙ステーション多数者間計画調整委員会開催結果について

平成10年10月28日
科 学 技 術 庁

報告内容

国際宇宙ステーション計画の最初の要素（FGB。愛称「ザーリャ」）の打ち上げを直前に控え、10月23日、米国航空宇宙局（NASA）ジョンソン宇宙センター（JSC）において、国際宇宙ステーションに参加する協力機関間で多数者間計画調整委員会（MPCC）が開催されたので、結果を報告する。

1. 開催目的

11月に予定される国際宇宙ステーションの組立開始を前に、組立段階への移行の準備状況を確認する。

2. 出席者

科学技術庁：吉村調査国際室長

宇宙開発事業団：山浦宇宙環境利用推進部主任開発部員 他

NASA：マックレーン宇宙飛行局次長 他

欧州宇宙機関（ESA）：ロングハースト宇宙ステーション部長 他

カナダ宇宙庁（CSA）：ポアリエ宇宙システム局長 他

ロシア宇宙庁（RSA）：バジンコ有人宇宙部長 他

3. 結果概要

(1) 全般

各極の計画準備状況、NASAの計画移行前審査の結果、ミール軌道離脱計画、コンピュータ2000年問題への対応状況、今後の主要イベント等について報告、協議が行われた。

この結果、FGB及びノード1の打ち上げを予定通り行うことを確認した。

(2) 各論

①各極の計画準備状況

- ・RSAより、FGBについてはロケットへの最終組立段階に入っていることが報告された。またサービスモジュールに関し、現在試験を実施中であり、1月には試験を終了して2月には射場に搬出する予定であることが報告された。なお、問題点として、ソユーズやプログレスの調達が遅れていることが報告された。
- ・ESAより、欧州与圧実験室を始めとする装置等の開発を順調に進めていること、10月21日にアリアン5の3号機の打ち上げ及び回収カプセルの実験に成功したことが報告された。

- ・ C S Aより、マニピュレータ等の開発を順調に進めていることが報告された。
- ・ 我が方より、J E M、H T V、セントリフュージの開発及びJ E M運用準備を順調に進めていることを報告した。

② N A S Aの計画移行前審査

- ・ M P C Cに先立ち、N A S A内部の審査会として、国際宇宙ステーションの組立開始にあたり本計画に対するN A S Aの準備が十分整っているかを確認し、組立段階への移行の可否を判定する計画移行前審査が実施され、移行準備が整っていることが確認された。
- ・ 各パートナーは同審査会にオブザーバーとして参加した。

③ ミール軌道離脱計画

- ・ R S Aよりミール軌道離脱計画について報告され、R S Aとしては宇宙ステーション計画を優先させており、ミールは予定どおり来年6月に軌道離脱させる準備を進めているとの報告があった。

④ コンピュータ2000年問題への対応状況

- ・ 各パートナーより、2000年問題への対応状況が報告された。

⑤ 今後の主要イベント

- ・ N A S Aより、11月20日のF G B打上げ時の各種イベントの計画状況が報告された。

ー以 上